

「さよなら教育研究紀要、ありがとう教育研究紀要」

教育研究紀要委員会 委員長

矢田貞行

10年一昔と言うが、本教育研究紀要が刊行されて丸10年が経った。この紀要は、当時の村松常司学部長の肝煎りで、教育職員免許法改正やスポーツ健康科学部の教員に対するFD活動の一環として、創刊されたものである。

爾来、上述の本学部の教員や非常勤講師、さらには教育学部の教員らから、原著論文、授業研究、授業報告書等、多くの投稿をいただき、毎年10編を超える論文を掲載して現在に至っている。その間、文科省による教職課程再課程認定や学部でのFD活動にも本紀要が大いに貢献してきたと自負している。また、本号から紀要の電子化にも移行した。

さて、この度こうした研究紀要については、さらなるレベルアップ、より一層の向上を求める声も高まり、これからの教育研究紀要の在り方等も含めて、10年を一区切りして見直しの必要性に迫られてきた。そこで、本教育研究紀要委員会としても、名称変更を含め、従来採られてきた査読制度の抜本的改善等に踏み込んで、紀要のリニューアルをすることに決定した次第である。その内容の詳細については、まだ未定であるが、来年度からは、新たな紀要名称の下で、新しくスポーツ健康科学部に相応しい研究紀要を創刊する運びとなっている。

本学部や教育学部の皆さんに支えられ、ここまで紀要が持続できたことに謝意を表するとともに、リニューアルする新しい紀要にも支援のほど、お願いしたい。最後に、「さよなら教育研究紀要、ありがとう教育研究紀要」の言葉で、10年間の締めくくりとしたい。